



滝田としゆき たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

12月定例会チバテレ **3** チャンネル 生中継!!

自民党代表質問

滝田敏幸県議

12月2日(木) 10:00~



令和3年2月県議会で発言する滝田県議

千葉県議会随一の論客として活躍する滝田敏幸県議(4期)は12月2日の本会議・自民党代表質問に登壇。過去15年、現役県議最多37回目の質問戦に臨みます。
新型コロナウイルス医療提供体制の強化、北総鉄道運賃値下げ、印西市への新児相設置、北千葉道路整備促進など、県政の重要課題を取り上げます。
チバテレ地上波で生中継されますので是非御覧下さい。

是非ご覧ください!

主な代表質問予定項目 (11月21日時点)

1. 北総鉄道運賃値下げ及び都心直結線について
2. 千葉県児童相談所の印旛地区への新設について
3. 第6波に備えた新型コロナ対策と医療提供体制強化
4. 千葉県消防広域化と防災力強化について
5. 北千葉道路ほか県内道路網の整備について

北総線内普通運賃値下げを併せて要望

北総・通学定期大幅値下げ訴え!

滝田敏幸PROFILE

- 1960年 印西市大森生れ 大森小、印西中 県立我孫子高校
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議会当選(2期)
- 2007年 千葉県議会当選(4期)
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2010年 県総合企画常任委員長
- 2011年 千葉県ラグビー協会長
- 2013年 県総務防災常任委員長
- 2016年 農林水産常任委員長
- 2021年 千葉県監査委員

滝田県議・五大重点政策

- 北総鉄道2022年秋、運賃値下げ及び都心直結線の推進
- 千葉県新児相相談所の印西市への早期設置と児童虐待対策強化
- 印旛郡市内における消防広域化の推進と防災力強化
- 北千葉道路、NT~成田空港間の整備促進
- AEDと心肺蘇生教育の普及促進

たきた敏幸事務所

住所: 印西市木下1521
電話: 0476-37-4689



北総鉄道・都心直結線特集

本年6・9月県議会自民党代表質問で、北総鉄道が2022年秋に通学定期の大幅な値下げと北総線域内の普通運賃値下げを検討していることが明らかとなった。

過去15年、滝田県議は北総運賃問題を県議会で25回取り上げ、県政を動かし続けた。平成22年の成田スカイアクセス開業時、森田健作知事とともに沿線6市と京成電鉄による値下げスキーム（年6億円補助）に尽力。滝田県議の更なる値下げへ向けた挑戦は続きます。

北総鉄道&成田線の利便性向上 更なる運賃値下げへの取り組み

- 北総線の東京駅乗り入れ=都心直結線の具体化へ向けた、国・県・都の協議会設置を推進。
- 北総線の耐震補強及びホームドア事業の推進。
- 運賃値下げに向けた地元沿線6市、県、鉄道事業者との枠組を再構築。
- JR成田線の利便性向上。北総線との交差部への乗換駅設置を要望。



森田知事とともに、北総鉄道・北千葉道路を視察

都心直結線 (H30) 国・県・東京都三者協議を要請

東京都と協議を

滝田議員 都心直結線の事業を進めるにあたり、関係自治体である東京都との協議を積極的に進めるべきと思うがどうか。

総合企画部長 都心直結線の整備については、県としても国策で実現するよう要望しているところですが、都内を通る路線であることから、議員御指摘のとおり、東京都との協議は必要であると考えております。今後、具体的にどのような

に協議を行っていくか検討してまいります。

要望

滝田議員 都心直結線が実現すれば、都心から成田空港へのアクセスが改善され、東京都民にとっても利便性が向上する話なので、東京都の理解が得られるようあらゆる方面から努力することが必要だと思っております。最後は森田知事と都知事のトップ同士による政治判断になってくると思うので、実現に向けた検討が進んだ暁には、ぜひ知事の御英断をお願いしたい。

県への要望 (H29)

現在、地元9市町、県、国、NAAによる四者協議会において、第3滑走路整備など、成田空港の機能強化に関する議論・検討が進められているところだが、第3滑走路の整備効果を最大限発揮させるためには、成田空港から都心へのアクセスを更に向上させる都心直結線構想の実現が千葉県にとって悲願であると考えている。

そのためには、都心直結線構想の実現について、森田知事から、国に対し、強く働きかけていただくよう要望する。

北総スキーム再構築を提案 (H28)

滝田議員 北総鉄道の将来の運賃値下げについて鉄道事業者、地元6市、県による協議の場を設けるべきと思うがどうか。

総合企画部長 平成27年1月の「北総線の運賃値下げに係る確認書」において、運賃問題に関し、新たな事由が生じた場合には、関係者間で協議を行うとともに、北総線沿線地域活性化協議会を設置し、沿線地域の活性化に取り組むこととしております。

北総鉄道の経営安定化に関する見直しなどの諸条件を総合的に勘案し、協議が必要であると判断される場合には、このような場の活用を図ってまいります。

要望

滝田議員 白井・印西の両市長による、これまでの補助金スキームの終了は、結果として、鉄道事業者

との交渉を難しくした。ただ、県として都心直結線構想を進めるといふカードを持って、中長期的視点から協議の場を設け、鉄道事業者との交渉で、値下げに向けた連立方程式を組み立てていくことは可能と考える。

私は、住民運動の理屈で、「高いから値下げしろ」という主張はしない。そもそも、この鉄道は成田新幹線として国策により整備されるはずだった鉄道であり、結果的にP線方式の整備となり、受益者負担原則のもと、沿線在住の県民が日本一高い運賃を払い続けている。

ここは、政府の成長戦略に基づく都心直結線という大きな物語、プロジェクトの中で、是非とも北総の運賃問題の解決に取り組んで頂くことを要望する。